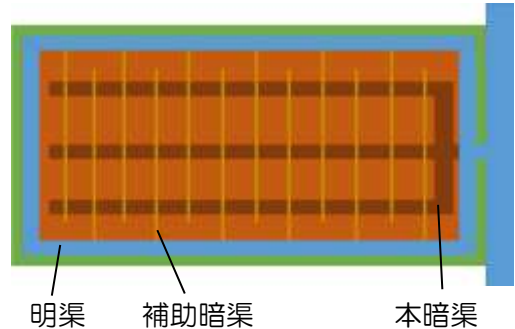


そばの高品質・収量確保には最初が肝心！

～圃場の排水対策と適期播種で安定生産を！～

◎排水対策

そばは湿害に弱い作物です。特に、播種期から出芽期までの湿害は収量減に直結します。大雨後に滞水しない圃場を選び、水田転換畑の場合は右図を参考に明渠の施工等、排水対策を徹底しましょう。



◎耕起・施肥

そばは極端な酸性土壌では生育が阻害されるので、苦土石灰（100kg/10a）などで酸度矯正をしましょう。

耕起作業は砕土率（粒径2cm以下の土塊の割合）70%以上、耕深15cmを目標に、雑草対策を兼ねて丁寧に行いましょう。

施肥は、窒素成分量を2～4kg/10aを基本とし、ほ場の肥沃度を考慮して多くなり過ぎないようにします。分枝数・開花数を確保するために、リン酸とカリは窒素より多く施用します。

成分名	窒素 (N)	リン酸 (P)	カリ (K)
kg/10a	2～4	6～9	6～9

◎適期播種を徹底しましょう！

播種の適期は、平坦部は8月上旬、中山間部は7月下旬～8月上旬、山間部は7月下旬です。播種が遅れると、開花までの生育量が不足するばかりでなく、開花そのものが遅れ、訪花昆虫の活動が活発なタイミングを逸するおそれがあります。

◎播種様式と播種量

目標苗立ち数：150本/m²

	特徴・方法	播種量（千粒重34gの場合）
条播	出芽揃いが良く倒伏しにくい。収量性が高い。 条間は30cm程度にし、雑草抑制効果を狙う。	4～6kg/10a
散播	簡便であるが砕土が十分でないと出芽が劣る。 均一に散布して軽く土壌に混和・覆土する。	5～8kg/10a

これから暑い季節を迎えます！ 農作業中の熱中症に注意！